

新型コロナウイルス感染症 対策ガイドライン

＜公式戦及びその他公式イベント版＞

Ver1.0 2020年7月17日更新

公益社団法人 日本ビリヤード協会



【本ガイドラインについて】

新型コロナウイルス感染防止のため、主催者(NBA・NBA各支部・NBA加盟団体)が実施する事項や参加者が遵守すべき事項を、本ガイドラインに記載しています。

政府及び各自治体の発する最新の対処方針と併せて対応のほどお願いいたします。

本ガイドライン記載事項は会場の状況等によりそのすべてが可能であるとは限りませんが、対応が困難な事項についても、代替え案を検討いただき万全の態勢で開催するようお願いいたします。

これらは選手・運営スタッフおよび観客のすべての来場者の安全・安心を確保する上でのガイドラインとなりますのでご理解いただき、ご協力のほどお願いいたします。

なお、本ガイドラインの内容は、政府の新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針等に基づき作成されていますので、予告なく変更する場合があります。

NBA公式サイトにて随時更新いたしますのでご確認いただけますようお願いいたします。

【基本的な考え方】

(密閉・密集・密接の三つの密を避ける)

新型コロナウイルス感染症の主な感染経路である接触感染と飛沫感染のそれぞれについて、選手・参加者、運営サイド及び観客等の動線や接触等を考慮した等の動線や接触等を考慮したリスク評価を行い、そのリスクに応じた対策を講じることをお願いいたします。

1. 他者と共有する設備や手が触れる場所等の高頻度接触部位の除菌・消毒
2. 会場施設内の換気
3. こまめな手洗い及びマスクまたはフェイスシールド(以下、マスク等)着用
4. 人と人との距離(最低1m、出来れば2m)の維持
5. 大声での会話の自粛
6. 必要に応じて会場入場者の制限や誘導
7. 基本的な健康チェック(検温チェックなど)及び来場者氏名他の記録
8. 選手・役員・スタッフ・観客への注意喚起

【具体的な施策】

※以降の記載において試合・選手・審判員の語句については、その他公式イベントの場合にはその内容によりそれぞれイベント・受講者または参加者・講師またはアテンダントと読み替えること。また、主催者と運営管理者が違う場合には、各種施策を実行するのは運営管理者となります。

＜主催者基本対応項目＞

1. 感染防止のため、本ガイドラインの記載事項および主催者が決めたその他の措置について事前の周知徹底を図る。
2. 無観客試合の検討及びゆとりあるスケジュールの考案に努める。
3. イベント当日は、本ガイドラインの各事項がきちんと遵守されているか、会場内を定期的に巡回し確認する。
4. 試合参加者（運営サイド含む）より提出を求めた書面については、万が一感染者が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意したうえで、試合終了後一定期間（少なくとも1ヶ月程度）保管する。
5. イベント後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応については、施設の立地する自治体の発する方針に従う。

＜主催者対応詳細＞

★事前準備

1. 公共施設等を借りての会場設置の場合には、事前に施設側と感染症対策について十分な確認及び協議を実施する。
2. 政府及び開催地自治体の発する感染症対策等の最新情報を常にチェックする。
3. 新型コロナウイルス感染防止対策は公式イベント開催要項の中で事前に必ず告知する。
4. イベント開催中に来場者の中に新型コロナ感染症の発症またはその疑いのある者が出た場合の医療機関他の所在・電話連絡先等を事前に確認しておく。特にイベントは休祭日開催が多いので連絡可能な医療機関について確認しておく。
5. イベント開催前及び開催中に感染拡大が発生した場合、また、イベント内で感染が発生した場合のイベント継続・中止等について対応方法を検討しておくこと。

★事前準備-2

6. 試合エントリーに関して、当日の受付業務を簡素化する方法を検討する。特に当日受付時にエントリーフィーの現金の手渡しによる授受をしない方策を検討する。

※エントリーに関する推奨方法:

「しゅくみねっと」を利用してエントリー及びエントリーフィーの入金を実施する。これにより金銭の授受等、当日の受付業務の簡素化及びり多くのリスク回避が可能となる。

7. 感染症対策に必要な物品のチェックリストを作成し、物品の用意とチェックを実施する。

★会場セッティング

1. イベントエリア(試合エリア・観客席・通路他)での3密状態を防ぐ配置・動線を十分に配慮する。
2. 会場として既存ビリヤード場を使う場合には隣り合わせのビリヤードテーブルで試合が実施されないよう工夫する。
特設会場の場合にはテーブルの間隔を十分に確保するよう設計する。
3. 観客入口または観客受付にサーモグラフィを設置するか、非接触体温計を利用して検温が実施できるようにする。
4. 選手受付及び観客受付の受付カウンター(対面カウンター)には、飛沫感染防止シートなどを設置する。
5. 必要な場所にアルコール消毒液を十分な量配置する。
6. 会場入り口、選手・観客受付窓口近辺、その他目立つ場所にイベントでの新型コロナウイルス感染防止対策の詳細を記述したポスターを掲示する。
7. その他、施設側の感染症対策に従った会場セッティングを実施する。

★観客受付

1. 入場票に氏名(複数の場合には代表者氏名と同伴人数)・緊急連絡先電話番号・入場時刻を記入。
また、入場にあたり、掲示している感染症対策への同意の項目を入れる。
※筆記用具は自分の物を使うよう依頼。持っていない場合には貸し出し、回収時に消毒を実施。
2. マスクの有無を確認し、着用していない者の入場を認めないものとする。
ただし、持っていない場合には無料配布(または販売)する。
3. 受付時以降、常時(水分補給時以外)マスクを着用することを周知徹底する。

★当日の選手及び運営スタッフ(役員含む)受付

1. 非接触体温計を利用して検温。37.0度以上の熱がある場合は入場できない。
2. 所定の「新型コロナウイルス感染症リスクチェックシート」への記入。
氏名・緊急連絡可能な電話番号・入場時刻・37.0度以上の熱/咳/味覚障害/その他各種症状が無いことの申告及びその他必要事項の申告。
なお、筆記用具を持参していない場合には筆記用具を受付にて貸出するが、回収時にアルコール消毒を実施する。
※「新型コロナウイルス感染症リスクチェックシート」は別紙サンプル参照。
※チェックシートは個人情報保護法に準拠し適切に取扱い、試合終了後、1ヶ月を目途に適切に廃棄する。
3. エントリーフィーの現金の手渡しによる授受を極力避ける。
当日の現金受け渡しがどうしても必要になる場合には、釣りが不要なよう準備するように事前に告知しておく。

★試合運営

選手:

- 競技前後に入念な手洗いの実施。
- マスク着用で試合エリアへ入場。
- 競技中のマスク着用を認める。
- 競技中、審判員へ申し出があるときは、必ずマスクを着用する。
- 競技開始前後の挨拶では握手はしない。
- チーム戦の場合メンバー同士のハンドタッチは禁止とする。
- こまめな水分補給を行う。

審判員:

- 競技前後に入念な手洗いの実施。
- 常時マスク着用する。
- グローブを着用し、1試合ごと交換またはアルコール消毒を実施する
- 感染リスク回避の為に競技ルールに捉われず柔軟に対応することができ、その権限を有し、選手及び観客はレフリーの指示に従わなければならない。

★試合運営-2

運営サイド:

- ・ 主催者ならびに主管役員、運営スタッフは場内での常時マスク着用する。
- ・ 試合ごとにボール、テーブル(クロス含む)、その他設備器具のアルコール等での消毒を実施する。
但し、クロスは、テーブルコンディション維持等を考慮し工夫して実施する。

観客:

- ・ 常時マスク着用する。
- ・ 選手への声援の禁止(拍手は可)

その他:

- ・ 会場内(競技エリア・観客エリア)での水分補給を除く飲食を禁止する。
ただし、会場施設に専用の飲食エリアがある場合には、施設サイドの対策方針に従い利用可能とする。
- ・ BGMの音量を最小限にする。

★開会式

1. 参加者全員マスクの着用。
2. 選手一同整列させる場合には、前後左右、最低1mの間隔を取る。
3. 協会旗入場、大会旗入場、優勝杯返還、開会宣言、選手宣誓は行わない。
4. 国歌斉唱は行わない（ただし必要に応じて演奏のみ館内音響設備にて流す）。

★表彰式・閉会式

1. 参加者全員マスクの着用。
2. オフィシャルカメラマン以外の記念撮影は禁止する。
(公式SNS等で写真・映像を公開する)
3. 個人戦の場合、表彰台の間隔を広くとる。チーム戦の場合、表彰台の間隔を広くとりつつ、表彰を分けて行う。(1～3位、4～6位で2回に分けて行うなど工夫する)
4. 表彰と閉会挨拶のみとする。
(感謝状贈呈、国歌斉唱、大会旗退場、閉会宣言は割愛する。)
5. プレゼンターはフェイスシールドもしくはマスクを着用する。
6. 賞状・トロフィー・副賞を授与する者は手袋を着用し握手はしない。
7. メダルは選手の首にはかけずに手渡し。
(受け取った選手が各自で首にかける)握手はしない。

★その他

1. 選手・運営スタッフの宿泊が必要となる場合は、極力シングルルームを利用する。
2. マスコミの入場は事前申請を受け許可制とする。
3. マスコミによる選手取材は原則として、選手了承のもと連絡先を交換しての事後電話またはEメールでの取材とする。
4. 参加者の集合写真撮影はしない。
事業報告に必要な写真は、参加者数名を選出し撮影する。

<本ガイドラインに関する注意事項及びお願い>

新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況は日々変化しております。よって、本ガイドラインに準拠することが万全の備えとなって、万一の事態に協会としてその責任を担保し得るものではありません。現時点ではビリヤードに関わる加盟団体・支部の皆様方の協力と行動が不可欠な状況です。皆様方のご配慮の程、切にお願い申し上げます。

お問い合わせ先等

公益社団法人 日本ビリヤード協会 事務局
〒160-0013
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
Japan Sport Olympic Square 704

TEL:03-5770-7911 / FAX:03-5770-7913
E-Mail: headoffice@nba.or.jp
URL: <http://www.nba.or.jp/>

